

第十七回 高岡医療圏在宅・緩和医療懇話会 世話人会議事録

当番世話人 高岡厚生センター 所長 守田万寿夫

日時:平成 27 年 9 月 5 日(土) 18:30~19:00

場所:ホテル ニューオータニ高岡 3階 雨晴(西)の間

参加者:白川クリニック 院長 白川尚哉先生

高嶋クリニック 高嶋達先生

たかはし内科医院 高橋徹先生

高岡市薬剤師会 理事 中川加代子先生

高岡市医師会訪問看護ステーション 管理者 野田美加先生

金沢医科大学氷見市民病院 林圭先生

平野クリニック 院長 平野誠先生

藤田内科クリニック 院長 藤田一先生

高岡市介護サービス事業者連絡協議会介護支援事業者部会

副部会長 宮内友子先生

JCHO 高岡ふしき病院 外科 部長 宮崎幹也先生

厚生連高岡病院 緩和ケア外科 診療部長 村上望先生

高岡厚生センター 所長 守田万寿夫先生

やまもと歯科医院 院長 山本鉄也先生

富山県済生会高岡病院 部長 吉田徹先生

議事進行:世話人 平野 誠先生(小関 支郎 先生欠席)

議事補佐:当番世話人 守田万寿夫先生

書記:厚生連高岡病院 総務課係長 吉田和央、武田薬品工業株式会社(欠席)

塩野義製薬株式会社、協和発酵キリン株式会、大鵬薬品工業株式会社

議題:

1) 会計報告

富山県済生会高岡病院 事務部 中瀬 剛司

(次回から厚生連高岡病院 総務課係長 吉田和央)

2) 今回、第十七回当番世話人から開催概要について

当番世話人 高岡厚生センター 所長 守田万寿夫より

歯科医の先生にも本会に参画してもらいたく、今回はテーマを「口腔ケア」にし、演者選定を行った。

3) 第十八回 当番世話人について

富山県済生会高岡病院 吉田 徹先生

4)第十八回 開催時期について

平成27年3月12日(土曜日) 当ホテルで予定

5)第十八回 開催内容について

富山県済生会高岡病院 吉田 徹先生から

テーマは「緩和ケア・在宅医療の取り組み」を予定。

6)第十八回 特別講演講師について

富山県済生会高岡病院 吉田 徹先生から

・特別講演を東名厚木病院 外科 日野 浩司先生に依頼

7) 第十九回 当番世話人について

厚生連高岡病院 村上望先生 「緩和ケア病棟と地域連携」をテーマ

8) 世話人の変更・世話人の推薦など

今回より世話人に加わる先生方からご挨拶

・金沢医科大学氷見市民病院 医長 林 圭先生

・やまもと歯科医院 院長 山本 鉄也先生

9)報告・協議事項

・今回から事務局は厚生連高岡病院へ移動 ホームページも移動

・武田薬品がプロモーション活動停止にて共催不能

今後の対応、もう1社依頼するか、3社で継続可能か、小関先生からファイザーへ打診中。3月までに共催メーカーが見つからない場合は、1社(大鵬薬品(株))で懇親会無しの開催か軽食での対応になる見込み。

・教育講演について 塩野義製薬(株)川本所長より

講演会を企画・実施するにあたり、製薬会社のプロモーション規定上、自社医薬品に関連する講演が含まれなければ懇親会の実施が難しい状況であることを説明。

次回からも教育講演を予定することを村上先生より説明。

・本研究会を基本とした高岡医療圏における在宅緩和ケアの研究報告

1) Going back to home to die: does it make a difference in survival?

Nozomu Murakami^{1†}, Kouichi Tanabe^{2*†}, Tatsuya Morita³, Shinichi Kadoya⁴, Masanari Shimada⁴, Kaname Ishiguro⁴, Naoki Endo⁴, Koichiro Sawada⁴, Yasunaga Fujikawa⁴, Rumi Takashima⁴, Yoko Amemiya⁴, Hiroyuki Iida⁴, Shiro Koseki¹, Hatsuna Yasuda² and Tatsuhiko Kashii²

BMC Palliative Care (2015) 14:7

(英国の緩和ケア専門科学誌:Impact Factor 1.79)に掲載

:病院緩和ケアチーム介入時からの病院療養群と在宅療養群との生存期間の比較研究 高岡医療圏における本懇話会を基本とした取り組みとして報告

(共著:小関先生)

2) Facility-related Factors Influencing the Place of Death and Home Care Rates for End-stage Cancer Patients

Sakimi Sasao, BS,¹ Kouichi Tanabe, PhD,^{2,3} Tatsuya Morita, MD,⁴ Toru Takahashi, MD, PhD,⁵ Hatsuna Yasuda, BA,² Tatsuhiko Kashii, MD, PhD,² Koichiro Sawada, MD,⁶ Michiko Tonomura, BS,¹ and Nozomu Murakami, MD, PhD⁷:

Journal of Palliative Medicine Volume 18, Number 8, 2015

(米国の緩和ケア専門科学誌:Impact Factor 2.06)に掲載

:射水市の一般訪問看護ステーションにおけるがん患者の在宅看取り率と施設要因の調査研究(共著:高橋先生、謝辞:平野先生)

10) その他

第20回は記念大会として何かの企画をしては。

小関先生が代表世話人を務めるのが良いのでは(平野先生から)
次回の世話人会で世話人の先生方より意見を持ち寄り検討する。